

表1 猪串湾赤潮プランクトン検鏡結果									
令和8年8月3日									
採集地点	調査時間	水深 (m)	水温 (℃)	塩分 (PSU)	溶存酸素 (mg/l)	シャットネラ sp.	カレニア ミキモトイ	ヘテロシグマ アカシオ	マーガレフィディニウム (旧)クロロディニウム
									ホリクリコイデス
1. 森崎	9:52	0	28.6	33.46	6.4	0	0	0	0
		2	26.7	33.67	6.7	0	0	25	0
		5	26.0	33.67	6.9	0	0	0	0
		10	24.6	33.67	6.6	0	0	0	0
		14.6	23.9	33.75	5.0	0	0	0	0
2. 越田尾	9:47	0	28.4	33.47	7.0	0	0	5300	0
		5	25.9	33.69	6.9	0	0	0	0
3. 猪串					***				
4. 鵜の糞					***				
5. 小蒲江					***				
6. 屋形島					***				
7. 赤バエ					***				
8. 蒲江赤灯台	9:43	0	28.2	***	***	0	0	25	0
		2	27.6			0	0	0	0
9. 丸市尾	9:20	0	27.7	***	***	0	0	0	0
		2	26.6			0	0	0	0
10. みごの浦	9:41	0	26.7	33.76	6.9	0	0	25	0
		5	25.6	33.78	6.8	0	0	0	0

※0mの水温・塩分・DOはクロロテックの0.5mの測定データによる

※8,9は南部振興局採水

参考: 赤潮注意・警戒密度(単位:細胞数／ml)

プランクトン	注意密度	警戒密度
シャットネラspp.	10以上	100以上
ヘテロシグマ・アカシオ	5000以上	50000以上
カレニア・ミキモトイ	200以上	2000以上
クロロディニウム・ホリクリコイデス	30以上	300以上

* 警戒密度は漁業被害が想定される密度です。

* アワビ、サザエ等ではカレニア・ミキモトイで100～200細胞／mlで斃死する可能性があります。

* マグロに関しては、赤潮注意・警戒密度に1/10を乗じた細胞密度とする。

* (旧)クロロディニウム・ホリクリコイデス→(新)マーガレフィディニウム・ホリクリコイデス

連絡事項

有害プランクトンのヘテロシグマ・アカシオが確認されました。

超田尾でヘテロシグマ・アカシオの赤潮が確認されています。(5,300 細胞/mL)

今後の細胞密度の推移にご注意ください。

